南城市 ボラセン情報

H25.4.25　No.12

南城市ボランティアセンター
南城市社会福祉協議会
〒901-1206　南城市大里字仲間918
（南城市総合保健福祉センター内）
TEL　098－882－8861

笑顔よ届け！大きな鯉のぼり

「東日本大震災という大きな災害があったことを忘れないでほしい」

そう話したのは、東日本大震災後に災害ボランティアとして岩手県で活動し、活動後も沖縄から物資の支援等を続けている運送業・仲村隆志さん（市知念出身）。

昨春、ネットで岩手県大槌町の商店街がゴールデンウィークに『子どもまつり』を開催する記事をみつけました。そのまつりで、全国各地から鯉のぼりを募集しているということを知り、「子供たちが少しでも元気になれたら！」との思いから自身も鯉のぼりを寄贈することを決めました。そこで、鯉のぼりをそのまま送るのではなく、南城市社協を通じて市内の中学校と連絡をとり、中学生にメッセージを書いてもらったものを送る事にしました。

メッセージを書いた玉城中学校の美術部の生徒と仲村さん（右）

この鯉のぼり寄贈の企画は、昨年も中学生に協力をしてもらい今回で2回目。このお願いに対して、市内の佐敷・大里・知念・久高・玉城の全中学校が協力しました。各中学校とも、思いを込めたメッセージやイラストなどを書いてくれました。

中学生からのあたたかいメッセージ

4月18日には各中学校を回ってきた鯉のぼりが、最後にメッセージを書いた玉城中学校の生徒から仲村さんへ手渡されました。美術部の山入端さんは「まだまだ被災地たちも震災の事を1日も忘れずにいたいです」と話しました。

仲村さんは「たくさんのメッセージをありがとうございました。これをきっかけに、岩手の子ども達と何か交流がもてたらいいなと思います」と協力してくれた中学生へお礼の言葉を話しました。

この鯉のぼりは、岩手県大槌町の『福幸きらり商店街』で開催される『子どもまつり』で掲揚され、その後は大槌小学校に寄贈されることになっています。

市内の学校へボランティア活動や福祉教育をサポート

南城市社協（阿嘉広雄会長）では、毎年市内の小・中学校、幼稚園、保育所（園）を対象にボランティア活動推進校を指定し、年間を通してボランティア活動や福祉教育の推進を行ってもらっています。今年度は、市内にある全45校（所・園）のうち、21校がボランティア活動推進校の指定を受けます。

校内外でのボランティアや福祉体験学習、福祉講話、環境美化などといった活動を通して思いやりの心を育み「自分たちで考え行動する力を身につける」ことを目的にしています。今年も多くの児童・生徒たちが思いやりの心を育んでいくことを願うと同時に、南城市社協・ボランティアセンターとしてもサポートしていきたいと思います。

ボランティア保険をご存知です

南城市ボラセンでは、無償のボランティア活動中におこる様々な事故に対する備えとして「ボランティア活動保険」への加入をお勧めしています。この保険は活動中に自身がケガをしたという傷害事故と、相手にケガを負わせてしまった、活動中に物品を壊してしまったなどの賠償事故の場合に適用されます。南城市ボラセンへ登録したボランティアが対象となり、掛け金300円で年度内補償されます。

また、地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事における様々な事故に対する備えとして、「ボランティア行事用保険」への加入をお勧めしています。この保険は地域住民や関係団体、ボランティア、当事者などが主体的に参加し、地域社会における福祉問題に対し、また地域の福祉を高めるために取り組む活動に対して適用になる保険になります。該当の行事内容等に関しては南城市ボラセンにお問合せ下さい。

加入手続きは南城市ボラセンまで！（担当：港川）

お知らせ・情報掲示板

地域福祉活動やボランティア活動の助成金について

前号（No.11）で紹介したみずほ教育福祉財団の助成金以外にも、助成金情報はまだまだあります。地域福祉活動を行う団体やボランティア活動を行う団体へ、多くの民間団体等が助成金を交付しています。

「地域のミニデイで使えるレク用品が欲しいなぁ～」「障がいを持つ方を支援するボランティア活動のための備品が欲しいなぁ～」などといった事を考えているあなた！是非、助成金を活用してみませんか？

南城市ボランティアセンターで助成金に関する情報を提供いたしますので、お気軽にお問合せ下さい♪

南城市社協や沖縄県ボランティア市民活動支援センターのホームページにも助成金情報が掲載されていますのでご覧下さい。

※地域によって「ボラセン情報」の配布に差があります。ご了承下さい。